



アクトの作り方

著
トミー・ワンダー

補稿：ショーの作り方

著
トム・ストーン

訳
谷口和巖 滝沢敦

Published with explicit permission of the Tommy Wonder Estate.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means electronic, mechanical, photocopying, including photocopy, recording or any information storage and retrieval system now known or to be invented, without permission in writing from the publishers.

© 2017 Tommy Wonder Estate & Tom Stone

© 2019 Realize Your Magic, LTD.



目次

序文	6
アクトの作り方（トミー・ワンダー）	8
正しいマインド・セット	10
必要なスキル	11
演技スキル	11
様々なパフォーマンスの構造に関する知識	11
マジックのスキル	12
道具を作るスキル	12
アクトの構想を練る	12
成功する可能性があるか判断する	13
演じられるようにする	15
助力を仰ぐ	17
粗末なものでも何も無いより良い	17
不可欠なもの	17
下手でも許される場所	17
アクトを磨く	18
演技の特徴	19
ステージ・テクニク	20
演劇の基本中の基本	23
感情	23
プロット	24
2ポイント・プロット	24
3ポイント・プロット	24
1ポイント・プロット	25
推薦図書	25
ショーの作り方（トム・ストーン）	26
「好み」に関する問題	27
大きなリスク	29
締め切り	30
タイトル	30
社会工学	31
情報収集	32
パートナーシップの可能性を探る	32
小さな一歩	33
脚本を書く	34
今知っていることを全て忘れる	35

より自然なことをしる！	36
新しい光	36
素材	38
パフォーマーのツールボックス	39
構造	39
説明を省く	41
常套句を使わない	41
抽象的ではなく具体的に	41
時と場所を身近なものに	42
簡略化する	43
コントラスト	44
ただの手続きを面白くする	45
感情	45
対立構造	49
変化	49
伏線	49
コールバック	51
仕上がりをさらに高める	52
可視化	52
演出家を探す	53
リハーサル vs 練習	55
弱点を攻める	56
作ったコネを収穫する	56
まとめと補足	58
パートナーシップの可能性を探る	58
小さな一歩	60
パフォーマーのツールボックス	60
仕上がりをさらに高める	63
実践	65
みんな間違っている！	65
舞台美術	65
宣伝とポスター	66
舞台稽古	67
プログラム	68
製作スタッフ	70
とにかく告知を！	71
最後に	71

To Tom,
fellow creator!
All the best.
Tammy

序文

非常に忙しくしていた 2005 年のある日、トミー・ワンダーから素敵な贈り物が届いた。"アクトの作り方"という題名の小さな冊子だ。おかしなことに、この冊子を知っている人にも、私以外に持っている人にも会ったことがない。病気のせいで中止になったレクチャーのためにトミーが作った原稿である、というのが私の推測だ。

この原稿には、よく聞くアドバイスも入っているが、ここでしか見つからないユニークな情報も含まれているため、世の中に広めた方が良さだろうと思った。

おまけとして、私が 2010 年の "ジニー誌" で連載したショーの作り方も掲載する。

トム・ストーン

ストックホルム、2017 年 9 月



アクトの作り方

マジックをいくつか連続で演じて、マジックのアクトにはならない。アクトを作る時には、マジックを繋げる以外にも考慮すべきことが山ほどある。全てこなすのは非常に大変だが、それだけに見返りも大きい！

少ないとはいえ自分のアクトを作ったこともあるし、人のアクト作りを手伝った経験もある。その中で、間違った作り方が何千と存在することが分かった。作り方を間違えると無価値なアクトが出来上がったり、途中で熱意を失って完成しなかったりする。ここでは、アクト作りを成功させる上で必須な要素や、逆に落とし穴になるものについて書く。

もちろん、ここに書かれていること以外にもいろんな要素があるが…続く議論の中で紹介するものがアクトを、君のアクトを作る手助けになることを願っている！

トミー・ワンダー

アムステルダム、2005年6月